



京都 ZERO
ワイズメンクラブ

The Y's Men's Club of Kyoto
ZERO
since 2010

8

2020
August

8月10日発行
第11巻 第2号 通巻116号



Bulletin

CHARTERED 2010

◆今月の聖句 新約聖書 マルコによる福音書 9章50節

「塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、あなたがたは何によって塩に味を付けるのか。自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。」

主
題

クラブ会長 《山田 維久仁 (京都 ZERO)》 :	「人」 “VALUES EXTENSION AND LEADERSHIP”
国際会長 《Jacob Kristensen (デンマーク)》 :	「価値観、エクステンション、リーダーシップ」 スローガン “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」
アジアエリア会長 《David Lua (シンガポール)》 :	Make A Difference! 「変化をもたらそう」 スローガン “INSPIRE” 「奮い立たせよう」
西日本区理事 《古田 裕和 (京都トゥービー)》 :	主題 “Let's do it now !” 副題 “2022 に向け誇りを持って All is well.”
京都部部長 《中村 隆司 (京都ウエル)》 :	「人生は一度きり」 ～出会いから全てが始まる～



副会長として 11期副会長 坂口 祐司

みなさんこんにちは！今期副会長の坂口でございます。
コロナの影響でなかなか皆さんとお会いする機会が無いですが、元気に過ごされてますか？

この様な形で11期をスタートするとは考えてもおらず、今までのワイズ活動のルーティーンがなかなか出来ない状況に僕としても困惑しています。

ZEROクラブとして10周年記念事業も控えた今期、現在無期限での延期も決まり、節目を迎えてよりパワーアップしたZEROを他クラブにアピールしたかったのですが残念です。

でもここは皆さんポジティブに考えましょう！！

コロナを乗り越えた時に、仕事のにも「なんとか乗り越えたな。。。」「さあここから挽回するぞ！」色々な思いを抱えた中、ワイズ活動がスタートします、そんな時に元気印のZEROがみんなに笑顔を与えられる様なクラブであればより輝いて多方面にアピールする事が出来ると思います。

山田会長が掲げられている「人」という主題にぴったりのクラブカラーを創り出していける良い機会だと僕は感じています。

苦難を乗り越えて大きくなった所に「人」は集まります。

「人」が集まれば、喜びも、達成感も、そして出来る事ももっともって大きくなっていきます。

そこにまた「人」が集まり、ZEROクラブは大きくなっていく、良いイメージしか出来ませんね！

副会長という立場で、山田会長の思いをより躍進する為に尽力していきたいと思っています。

今期は例年に比べて例会・事業等、少なく短いクラブ活動になると思いますが、だからこそ深く濃いクラブ活動に出来る様、皆さん頑張っていきましょう！



Zoom会議楽しいね。移動なく1クリックで会議が始まる。マスクをすればお化粧不要。バーチャル背景で私生活も見えない。交通費不要。参加者一人一人が見える。等々。

数年前、働き方改革という言葉が世に広がり、勤勉で猛烈に仕事をしてきた時代の人達には他人事のような法改正であった。

何ゆうてんねん！若者よもっと働け！在宅勤務？時短？そんなもん仕事にならへんわ！と・・・

現場主義の私はよもやこんな時代がコロナによって突然それも瞬時に革命のような変化が受け入れられるとは思ってもよらなかった。いつも一生懸命考えているふりをしているのだろうか？

ありとあらゆるビジネス書を読みあさり進化するために模索し、しかし、餅は餅屋で何も変わらない私。でもWithコロナで世界がすべて変わった。私が大きく変わった。周りも変わった。生きていくための可能性がいっぱいあることが色々と偏見なくして見えてくる。

定時総会は新しい山田会長のもと「人」という会長主題。オンラインの非接触会議でも人の暖かさが伝わってくる。いつもより気を散らさず真剣に画面に向き合っている。各事業委員会の会長意向、方針、計画がありこれからのニューノーマルの生活でどのように実行していけるのか新しい試みがきっと生まれてくる。京都ZEROクラブがこの時代に一番乗りで成果を出せるような気がしたZoomでの定時総会だった。私達進化している。

辻野 紀子

総会次第	
○開会宣言	山田会長
○議長選任	山田会長
○書記選任	坂口副会長
○定足数確認	南方副会
○議案審議	坂口副会長
第1号議案	第10期 事業及び各事業委員会事業報告に関する件
第2号議案	第10期 決算報告に関する件
第3号議案	第11期 会長主題・方針に関する件
第4号議案	月会費 変更に関する件
第5号議案	第11期 月会費 減額に関する件
第6号議案	第11期 事業及び各事業委員会活動予定に関する件
第7号議案	第11期 予算案に関する件
第8号議案	第11期 年間スケジュールに関する件
第9号議案	その他に関する件

“キャビン日記”「10周年記念 ACT」

7月5日(日曜日)

梅雨という季節柄、なんと前日まで雨模様。今回も中止かな、という気持ちでしたが、当日は梅雨の中休みで雨も上がり時折晴れ間も！誰が晴れ男？晴れ女？ま、一応、僕は晴れ男ですけど。

というものの世間では新型コロナウイルスでがちがちに感染予防対策をしないと白い目で見られる状態。しかし、ここだけはそんなのどこ吹く風！ソーシャルディスタンス？三密？そんなことを忘れて過ごすのもいいものですね。

そして、キャビンの方はというと、数カ月前には更地だったところにキャビンがドン！と建ち、遂に屋根まで付きました。雨漏り防止のシートまで。外見はキャビンらしくなってきました。



こうやって何も無いところから何かが出来上がる・・・自分の事業も今年から本格的に、まさしく何も無いところからスタート。そのことを重ね合わせてみると、今は基礎をしっかりと固め、そして自分の目指すところに向かって建物を建てていこうという気持ちにさせてくれるワークでもあります。

最後に、いつも決まったメンバー、しかも中高年者ばかり(参加されているメンバーの方、すみません)。でもわいわいがやがや賑やかな現場です。なので、若いメンバーはもっと積極的に参加して！街中と違い空気がいいのはもちろん、ランチタイムには高倉ワイズや佐古田ワイズの愛情のこもったおいしいお食事もいただけますよーなので、作業的には残り少なくなってきたようですが、まだ参加されたことのない方は是非一度、参加されては？



らん、ランチタイムには高倉ワイズや佐古田ワイズの愛情のこもったおいしいお食事もいただけますよーなので、作業的には残り少なくなってきたようですが、まだ参加されたことのない方は是非一度、参加されては？

南方 陽介



日本には4つの季節があって、そのどれもが輝いていて美しく豊かな自然の美があふれています。これらすべてのものを作り出した神はなんと偉大なことでしょう。

そして今——夏の到来です！ 旅することほど素敵なことはありません。開けた大自然の中、屋外でのレジャーや活動は、心と体両方を元気にしてくれます。

滋賀県にあるYMCAのサバエキャンプ場のような場所は、夏の時期にキャンプをして滞在すれば、どんなアクティビティーもすることができます。例えばキャンプファイヤーを囲んで楽しんだり星空の下で眠ったり。そのうえ琵琶湖が目の前なので、泳いだり、パラセーリングをしたりといったもっと色々なアクティビティーをすることができます。

加藤滋一ワイズ、宮越ワイズ、そして山田会長とともに私は、7月12日に行われたサバエキャンプ場開設ワークに参加しました。ワイズメンだけではなく多くの学生リーダー達が、我々メンバーがキャンプ場全域で行う清掃活動を手助けするために参加してくれました。清掃の後、ワイズメンは学生達がその日滞在するためのテントの設営を手伝いました。考えると面白いことですが、知らない者同士でも、年の差が大きくてもともにこのような活動すればお互いにコミュニケーションを持つことができるのです。個々がこうした活動に参加すれば、彼も彼女も一つになって活動しなければならぬので、他の人と協調すること、社会とつながることを学ぶことに役立ちます。作業の後、我々はクラブのキャビンで昼食をとりました。新鮮な空気とまるで癒しの音楽のようなコウロギの音色が聞こえてきたので私たち4人はZEROキャビンの中で30分以上うとうとと眠りました、そして心地よく目覚めました。だからおわかりですね、このようなキャンプ場がとても大切だということ。キャンプのアクティビティーは、たくさんの楽しみ、冒険、喜びを人々にもたらしてくれ、その上、健康と社会貢献を楽しむことを期待できるのです。だから皆さん、安全な距離を保ちつつ太陽の下で楽しみましょう！

坂口 バネッサ



COVID-19の影響がなかなか収まらない中ではありましたが、京都プリンスワイズメンズクラブ主催でチャリティーゴルフコンペが信楽のザ・カントリークラブで開催されました。ゴルフ場もコロナ対策を徹底し安全なラウンドができるよう気配りされていました。

26名の参加があり、我がZEROクラブからは竹園ワイズ、加藤学ワイズ、田端ワイズ、熊谷ワイズ、佐藤ワイズ、そして私の5名が参加しました。それまで連日の雨で、予報はずっと雨マークでしたが、よほどみんなの精進が良かったのか当日は嘘のように晴れてびっくりでした。

いよいよスタート。滋賀県屈指の難コースといわれるだけあって、各ホール名物のバンカー地獄にみんな苦しめられてヒーコラ。前日までの雨で砂が重く、ヘボゴルファーのわたしなんぞは捕まれば蟻地獄に！なんとかかんとかバンカーを避けつつラウンドしてきました。雨は降らずに助かりましたが、気温がどんどん上がって熱中症にならないよう水分補給と、木陰での休息をとりながらのラウンドでした。

加藤ワイズのゲストはお上手で素晴らしいスコア、私の友人二人は佐藤・田端両ワイズとご一緒していただき、とてもよい青年たちとラウンドでき楽しかったと喜んでくださいました。なんとそのうちのお一人はZEROクラブに入会したいとまで！若きZEROのパワーのおかげです。初心者の熊谷ワイズは難コースと口の悪い私の従妹の容赦ないじりの犠牲となり見事？プービー賞獲得！となりました。竹園ワイズはニアピンと飛び賞獲得、私もラッキーセブン賞をいただきました。閉塞感のある時ではありますが、久々に自然の中でメンバーと楽しめてとてもリフレッシュできました。我がZEROクラブ主催でも、チャリティーコンペができるといいなと思いました。山田会長、よろしくお祈りします！

ご参加くださったメンバーの皆様、プリンスクラブ所属の主人に代わってお礼申し上げます。感謝。

交流委員 西村 寛子



法律相談

No.2

佐藤 善紀

「または（又は）？もしくは（若しくは）？、および（及び）？ならびに（並びに）？」

契約書の作成にあたっては、当事者同士で解釈にズレがないようにしなければなりません。ところが、契約書の言い回しは独特で分かりづらいことも多々あると思います。今回はその一例を整理してみます。

まずは、または（又は）もしくは（若しくは）です。

または（又は）もしくは（若しくは）はどちらか一方という形で用いられますが、契約書など法令用語としては厳格に使い分けがあります。または（又は）は、大きな接続で、若しくは（もしくは）は小さな接続において用いられます。

次はおよび（及び）とならびに（並びに）です。

および（及び）は、語句を単純に並列的に並べるだけのときに用います。結びつける語句に上下、強弱があるときは、および（及び）だけでなく、ならびに（並びに）を用います。例えば、A・BグループとCとに分けられるときは、A及びB並びにCと用います。

このように使い分けがありますので、お手元の契約書の使い分けに注意してください。

強調月間

YOUTH ACTIVITIES

若者が大きく成長する夏。ユースの活動をバックアップして忘れられない夏を作ろう。

益国 隆人 Y・サユース事業主任(広島クラブ)

YMCA NEWS

1. 京都YMCA国際福祉専門学校 介護福祉学科 オープンキャンパスのお知らせ

日時：8月22日(土) 午前10時～12時 おいしい!やさしい!みんなでおやつづくり
9月26日(土) 午前10時～12時 癒しの技術 ハンドケア
場所：京都YMCA
申込：参加ご希望の方は、お電話にてお申し込みください。
Tel：075-255-3287

2. YMCA三条保育園入園希望者説明会のお知らせ

日時：9月26日(土) 午前10時～11時30分
10月31日(土) 午前10時～11時30分
11月21日(土) 午前10時～11時30分
場所：京都YMCA
申込：参加ご希望の方は、お電話もしくはメールにてお申し込みください。
Tel：075-254-8131 E-mail：hoikuen@kyotoymca.org



HAPPY BIRTHDAY

8月20日 高倉 英理



7月例会出席		
	第1例会	第2例会
メンバー	26名	新型コロナウイルス ウィルス感 染防止のた め中止
メネット	0名	
コメット	0名	
ゲスト	3名	
月間出席者 27/31名	月間出席率 87.1%	

ニコニコ	
7月	0円
累計	0円

ファンド	
7月	0円
累計	0円

8月事業予定

2日(日曜日) 10周年記念 ACT事業
9:00~15:00
京都YMCAリトリートセンター
9日(日曜日) 第1例会「リトセンにてEMC野外例会」
11:00~14:00
京都YMCAリトリートセンター

9月事業予定

10日(木曜日) 第1例会「京都部部長訪問例会」
19:00~21:00
ホテル日航プリンセス京都
17日(木曜日) 京都ZERO 第1回「経営塾」
19:00~
ZOOM会議

IBC・DBC 締結クラブ

IBC・・・Kaimuki Y Service Club(Hawaii)
DBC・・・阿蘇ワイズメンズクラブ(熊本)
長浜ワイズメンズクラブ(滋賀)

編集後記

奥村 悟

最近の梅雨は集中豪雨になることが多いですね。地球温暖化による気候変動を言われていますが、私が子供、学生(何年前だったかは言わないでおきます)の頃はしとしと降り続いて、豪雨のイメージは無かったように思います。ただただじめじめしていました。今度の豪雨で被害にあわれ、大変な思いをされている地域の皆さんへのお見舞いと、早い復興を願います。